

# ダグラスファーの塗装とメンテナンス

ダグラスファーは、オークや他の樹種の無塗装品と同様にクリアオイル塗装やウレタン着色塗装等のような仕上げも可能ですが、北欧ではソープホワイトかホワイトオイルで白く仕上げるのが一般的です。

## ソープホワイト仕上げとホワイトオイル仕上げ

ソープ仕上げもオイル仕上げも、成分が木穴を塞ぎ、埃や水分の吸収を防ぐ点では同じ働きをしますし、塗装直後の色味もそれ程変わりません。オイル仕上げは、水分に対する抵抗力はソープより強く、乾燥時のフローリングの収縮を抑制するメリットもありますが、重歩行の商業施設等で長く使用した場合は白味が薄まり汚れが目立ちやすくなります。その場合は、改めてホワイトオイルの再塗装が必要になり、乾くまでの時間がかかるというデメリットがあります。その点ソープ仕上げは、オイルよりはまめにクリーニングするの必要がありますが、ソープクリーニングは簡単ですぐ乾くので結果として白さを長く保つことが出来るというメリットがあります。



## ソープ仕上げとオイル仕上げの一般的な使い分け：

**ソープホワイト仕上げ：** 商業施設やショールーム等で、頻度はかけてもメンテナンスを簡単にやりたい場所

**ホワイトオイル仕上げ：** 住宅等でメンテナンスに手をかけられない場合や、床暖房の使用等で乾燥しやすい場所

## ソープホワイトの使用方法：

**仕上げ：** ソープホワイト仕上げにするためには、「ライ&ソープホワイト」という塗装工程になります。ライは、木の変色を防ぐとともに、導管を開いてソープやオイルを浸透しやすく働きがあります。

1. ライ (BALYE) をボトルごと良く振ってから原液のままナイロンブラシ等でフローリングの長手方向に塗っていきます。(フローリング表面がサンディングされ、埃がついてなく、乾燥している状態であることを確認してからライ塗装します)。
2. ライは塗装直後に綿布等で木肌に刷り込みながらよく拭き取ってください。白い顔料を多く含んでいるため時間を置くと色むらになりがちです。塗装直後によく拭き取ることが重要です。乾燥後表面の毛羽立ちが目立つ場合は、100 ~ 120 番の紙やすりで軽く研磨して下さい。
3. オイルソープ・ホワイト (OSWHS) は、希釈せず原液で 1 回塗りです。ボトルごと良く振ってからスポンジやローラーでフローリングの長手方向に塗装していきます。ライで白い色味を作り、オイルソープ・ホワイトはその油分で汚れや水分から表面を保護する働きをします。ふき取りは不要です。
4. 24 時間経過すれば床は使用できる状態になりますが、使用開始前には必ずソープ・ホワイト (SOWHD) を 40 倍程度に希釈して床の汚れを落とすしてください。ふき取りは不要です。

**メンテナンス：** 汚れの程度により頻度は異なりますが、ソープ・ホワイト (SOWHD) でクリーニングすることにより汚れを落とすとともに、白さを取り戻します。

1. ボトルごと良く振ってからぬるま湯で 40 倍程度に希釈して、モップや布でフローリングの長手方向に汚れを落としていきます
2. ソープを希釈したバケツと、汚れたモップや布をゆすぐためのぬるま湯を入れたバケツを用意し、クリーニングとゆすぐの作業を交互に行ってください。常にきれいなソープウォーターを使うことにより、汚れや埃で床を傷つけることを防ぎます。
3. すぐ乾くので拭き取りは不要です。

## 商品説明：

1. ベーシック・ライ (BALYE) \* 白く塗装するときの下地処理用  
5 ℓ 入り/本 ※1 本で約 40~50 m<sup>2</sup> 程度に使えます。原液使用。
2. オイルソープ・ホワイト (OSWHS) \* ソープ塗装用  
1 ℓ 入り/本 ※1 本で 10~15 m<sup>2</sup> 程度に使えます。原液使用。
3. ソープ・ホワイト (SOWHD) \* クリーニング用  
5 ℓ 入り/本 ※1 本で約 300~400 m<sup>2</sup> 程度に使えます。40 倍程度に希釈。

